2020 年 5 月 18 日

多摩市長　阿部裕行　様

多摩市議会　フェアな市政

折戸小夜子（代表）・岩永ひさか・大野まさき・しらた満

新型コロナウイルス感染症対応に関する緊急要望（その 4）

多摩市では 5 月 14 に臨時議会が開催され、新型コロナウイルス感染症対策への補正予算が可決されていますが、市民の暮らしを守るための多摩市の責任が今後ますます問われていくことと認識しております。今、市民からは「市の方針や具体策が伝わってこない」という意見もありますが、市役所も在宅勤務による「自粛」への協力を実施しており、速やかな対応にも一定の限界があるのかもしれません。しかし、市民の暮らしぶりの変化変容をしっかり捉え、必要な支援策を講じる責任を今こそ果たすべきです。6 月の第 2 回定例会をめざし、さらなる独自策を検討していく姿勢が示されていますが、改めて下記事項についても、合わせて要望し、検討していただきますようお願い申し上げます。

【要望事項】

1．市独自施策である「ひとり親等への臨時特別給付金」が児童育成手当受給世帯の児童を対象としていることから、それと同等もしくはそれよりも厳しいと推測されるひとり親等世帯以外への児童への支援策を講じてください。

2．就学支援制度により要保護認定をうけている世帯他、学校給食品の代替配布を実施していますが、それよりも学校給食センターを稼働させ、分散登校の時間割の工夫と給食メニューの工夫により、子どもたちの健康と成長を維持できるような対応を進めてください。

3．多摩市ではエコプラザで廃プラスチックの分別作業が行われていますが、作業場所は地下で風通しが悪く、蒸し暑く、密の状況です。作業員の健康を第一に考え、プラスチックごみを例えば 10 月まで償却に切り替える対策等を早急に検討してください。

4．コロナ感染と自然災害の複合災害に備えた対応を進めてください。特に浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の避難については自宅避難では済まないため、避難者を密にしない避難所配置や避難生活の中で感染を防ぐ対応なども含め、早急な対応を進めてください。

5．今年度当初予算に組み込まれた事業で、予定通り取り組めている事業、取り組めていない事業、見直しをしている事業、それぞれについて、現状と見通しを示してください。